

銃猟の安全対策について

令和4年12月20日
北海道森林管理局
北海道
北海道猟友会

○ エゾシカが全道で増加しているとみられている中、適正な個体数管理を推進し、人間活動とエゾシカとの軋轢の軽減を図る必要があることから、道では、令和4年度の捕獲目標数を全道で163,200頭（うちメス89,300頭）として、各地域と連携して捕獲対策を推進しております。

また、より効果的な削減につなげるため、メスジカの捕獲を積極的に行うよう許可捕獲従事者や狩猟者に対し、捕獲対策の推進に御協力をいただいております。

○ 一方、安全確保に向けた取り組みも重要であり、令和4年8月1日に、北海道森林管理局、北海道、北海道猟友会の3者連名により「令和4年度狩猟期間における銃猟安全対策とエゾシカ対策の具体の取組について」を各方面に通知していたところですが、今般、令和4年12月18日に、むかわ町で林道に停めていた車に銃痕のような破損がみつき、銃刀法違反の疑いもあるとして、現在、警察が捜査しているとのことです。

○ ついては、狩猟者自らが安全管理を徹底し、事故防止に努めることが求められていることを自覚し、今一度、法令・マナーの遵守、とりわけ矢先の確認など銃器の取り扱いに留意されるよう改めてお願い申し上げます。